

# 中央公民館 主催講座 受講者募集

## 家庭教育講座 [前編]

あなたの笑顔が子どもの笑顔  
「こころとからだ、おうちもリフレッシュ!」をテーマに講座を実施します。

第1回 6月28日(金) **「リズム」ストレッチ**  
NPO法人ふみの里スポーツクラブ 健康運動指導士 八木ちあきさん

第2回 7月3日(水) **「スッキリ! 骨盤エクササイズ」**  
健康運動指導士 工藤逸平さん

第3回 8月30日(金) **「おうち書類の種類別お片付け!」**  
育児をラクにするお片付けアドバイザー 甲斐祐子さん

第4回 9月6日(金) **「大人と子どもの洋服の整理整頓術!」**  
育児をラクにするお片付けアドバイザー 甲斐祐子さん

開催場所 中央公民館 大研修室  
時間 10時~12時  
対象 町内在住の子育てに関心のある方  
※お子さんと一緒に受講できません。  
定員 第1回・第2回 各回20人 第3回・第4回 各回30人  
費用 無料  
託児 要予約(生後6か月~就学前)※定員あり・先着順  
申込締切 随時受付 ※定員になり次第締切

## 子ども体験講座 「チャレンジクラブI」

活動内容 クッキングなどの体験の講座にチャレンジします。  
活動日時 6~3月の土曜日(全13回) 2時間(原則10時~12時)※6月15日開講  
場所 中央公民館ほか  
募集人員 50人  
※応募多数の場合は抽選となる場合があります。  
対象 町内在住の小学4~6年生  
費用 材料費などの実費(年間2,500円程度)  
締切日 5月28日(火)



## いきいき講座

「いきいき講座」は、ふるさとの歴史や現代的課題に視点をおき、学習することにより、1人ひとりが自己の教養を高め、人格を磨き、今後の人生を豊かで充実したものを目指すことを目指します。皆さんの参加をお待ちしています。  
※希望する講座のみの受講も可能です。

▶場所 うみ・みらい館 多目的ホール(町立図書館2F) ▶時間 13時30分~15時 ▶対象 18歳以上の町内在住者

- 6/12(水) **「開講式&軽運動と健康」**  
NPO法人ふみの里スポーツクラブ 健康運動指導士 八木ちあきさん
- 7/10(水) **「宇美町誌編さんからわかった町の歴史①」**  
宇美町役場 学芸員 松尾尚哉さん
- 9/11(水) **「エンディングノートについて」**  
福岡県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 久恒恵美子さん
- 10/9(水) **「知っておきたい相続のはなし」**  
福岡県司法書士会 会員 藤 哲也さん
- 11/13(水) **「宇美町誌編さんからわかった町の歴史②」**  
宇美町役場 学芸員 松尾尚哉さん
- 1/8(水) **「ストレッチ・リズムウォーキング」**  
NPO法人ふみの里スポーツクラブ 健康運動指導士 八木ちあきさん
- 2/12(水) **「食と健康について」**  
宇美町役場 管理栄養士
- 3/11(水) **「心のバリアフリーについて」**  
福岡法務局専門官

申し込み・問い合わせ 社会教育課 社会教育係 ☎933-2600 ※講座の内容は予定講師などの都合により変更する場合があります。

## 第25回参議院議員通常選挙 臨時職員募集

- ▶募集人数 【A】4人 【B】9人
- ▶業務内容 選挙事務
- ▶勤務地 宇美町役場
- ▶募集対象 任用日において65歳未満の人
- ▶募集条件

【A】任用期間 6月6日~7月31日  
勤務日数 25日程度

【B】任用期間 7月3日~7月31日  
勤務日数 17日程度

【AB共通】勤務時間 8時30分~17時15分(うち60分休憩)  
11時15分~20時00分(うち60分休憩)  
13時15分~22時00分(うち60分休憩)  
勤務日 シフト制 ※土・日・祝日勤務あり  
賃金 日給 6,350円

▶応募方法 5月27日(月)までに履歴書を下記へ提出

問 選挙管理委員会 ☎934-2241

## 平成31年4月7日執行 福岡県知事選挙および福岡県議会議員一般選挙開票結果

届出順位	所属党派	候補者氏名	得票数
1	無所属	しのだ 清	849
2	無所属	たけうち 和久	2,248
3	無所属	おがわ 洋	9,520
		得票総数	12,617
		あん分の際切り捨てた票数	0
		いずれの候補者にも属しない票数	0
		有効投票数	12,617
		無効投票数	224
		投票総数	12,841
		持ち帰り・不受理・他	0
		投票者総数	12,841

届出順位	所属党派	候補者氏名	得票数
1	無所属	吉田 大作	2,066
2	立憲民主党	富永 よしゆき	2,196
3	自由民主党	吉松 もとあき	4,034
4	公明党	西尾 こうじ	4,036
		得票総数	12,332
		あん分の際切り捨てた票数	0
		いずれの候補者にも属しない票数	0
		有効投票数	12,332
		無効投票数	309
		投票総数	12,641
		持ち帰り・不受理・他	0
		投票者総数	12,641

※当町の開票によるものです。

# 宇美町 エコトーク

UMI MACHI ECO TALK

初めての経験をするのがあつたら、もの心がついて以来」と表現することがあります。この「もの心」がつく年齢は何歳くらいだと思われませんか？

乳児期は、空腹やおむつの交換を泣いて知らせます。泣くのは乳児の意思伝達手段ですが、この要求の対応の仕方次第で乳児は、自分は大切にされている、周りの人たちは自分を守ってくれているのだ、という他者信頼感が生まれ、育まれるといわれています。

幼児期になると自己肯定感へと変化しますが、古来より伝わる「三つ子の魂百まで」ということわざがあります。この頃に物を大切に扱うとか、勿体ないといった心を育むのは、保護者の大切な役目です。幼い頃は、人生という階段を高くまで登っておりませんので、広くかつ沢山のものが見えませんが、自分の周りの人たちがから、思いや行いを学習しながら成長していきます。カウンセリングの技法のひとつに、「エゴグラム」で知られる交流分析があります。重要視されるのがどのような環境下で生まれ、育ったのかを

聞き、その人の「生育の歴史」を知ることです。

「子どもを見れば親がわかる」と聞かれたことがあると思います。が、子どもが小さな頃は親が笑われて済みます。しかし、その子どもが自立してからは子ども自身が笑われることになりません。親として申し訳ないと思いませんか？

現在成長期にある子どもたちは、人生百年時代を生きていくことになるといわれています。地球全体では、人口が増え続けてこのままでは資源不足が懸念されており、食糧問題は特に深刻な問題です。物を大切に扱う、勿体ない、という心を育んでいなければ、将来不満だらけの人生を送ることになるかもしれません。近代心理学に大きな影響を与えているフロイトは、「人は産道を通っていたときから記憶を有している」と残しています。私たちの思いや行いは、子どもたちに確実に記憶されているのです。もの心づく前から...

文責 地球温暖化防止推進員 竹吉 栄隆